

こども往還機

★子どもから出発して子どもに戻ってくる教育をめざすスペースシャトル★

第10期

平成31年3月27日

相模原市立教育センター

http://www.sagamihara-kng.ed.jp/kyoushi_jyuku/

卒塾号

卒塾おめでとう！

教師塾での学びを胸に 未来を拓け

3月16日（土）、第12回教師塾（最終回）を開催しました。午前には教師塾での学びを振り返り、これまでの自分の変容と今後どのような自分になりたいかを「自分への手紙」に表しました。そして、これまで一緒に学んできたグループの仲間と最後の協議を行い、それぞれの教師への志を確認し合いました。

午後には的川塾長からの講話がありました。小惑星探査機「はやぶさ2」の最新のエピソードや「好奇心」「冒険心」「匠の心」これらの心が合わさると「いのちを輝かせ、大きなプロジェクトを成功させることができる」ことを、ご自身の経験をふまえて教えていただきました。また子どもを育てることの大切さ、夢や目標があると困難を乗り越えられることなど、エールもいただきました。

閉講式では、野村教育長から「迷いや疑問が生まれたとすれば、それは成長の第一歩。謙虚さを忘れずに、未来を切り拓く子どもたちを育てて欲しい」と塾生に期待する言葉をいただきました。

修了証書を受け取る塾生たちの表情は、達成感から笑顔になっていました。またそれと同時に、夢の実現に向けた強い意志が伝わってきました。

やがて出会う子どもたちと、ともに学び続ける教師となることを、心から願っています！



的川塾長



野村教育長

自分への手紙

特にためになったと振り返るのは、自分の強みについて考えた2回目の論文を書く回です。教師に必要な資質・能力について書く上で、講師の方からありきたりじゃないことを書くんだよと言われました。私は講義で学んだことをそのまま書こうとしていたので、この言葉がとても響きました。その時に、素直に学ぶことは大事だけれど、学んだことをそのままアウトプットするのではなく、一度、自分の中で消化して、自分なりに学んだことを使えるように、手立てを知っておくことが大切なんだと、教師になる身としてはもちろん、今後の人生においても覚えておきたいですね。これからも教師塾で学んだこと、得たことを誇りに前向きに頑張ってください。

専任講師からのメッセージ

これからの先生は、子ども達の心に火を灯し学びのエンジンを育てる役割です。ぜひ塾での学びを活かしてください。
福川 裕史

教師塾での協議・模擬授業・学校実習を通して皆さんの成長と夢の実現への気概を感じました。未来の教師たち！頑張れ！
長崎 麻由美

「何をどのように伝えるか」が、教師の仕事であり技。子どもの笑顔や驚きが、先生のエネルギー。感性豊かな先生を目指して！
五十嵐 広行

教師の仕事へ具体的なイメージが持てましたね。「教師塾の学び」は、どんなところでも活かされます。これからも研鑽を積んで、頑張れ！
高田 恵子

教師塾で共に学んだことは、みなさんの宝物です。教師になりたいという気持ちを大切に、夢の実現に向け、学び続けてください。
田中 秀典

卒塾おめでとう。本当のスタートはここからですね。先生への思いが増して、やる気に満ちている皆さんにエールを送ります。Good luck！
二ノ宮 比呂志